

平成 31年 2月 22日

研究科長 殿

審査委員

主査 本間 生夫

副査 成瀬 秀夫

副査 高橋 康輝



学位論文審査報告書

学位申請者	保健医療学研究科 保健医療学専攻 平成 28年度入学 氏名 加藤 明恵	学籍番号	5216001
申請学位	博士(柔道整復学)		
学位論文題目	Relationships between trait and respiratory parameters during quiet breathing in normal subjects		
成績	合格		
審査期日	平成 31年 2月 13日 ~ 2月 22日		

- 注 1 論文審査の成績は、合格又は不合格とする。
2 学位論文審査要旨を添付すること。

学位論文審査要旨

審査委員

主査 本間 生夫

副査 成瀬 秀夫

副査 高橋 康輝



学位論文提出者

保健医療学 研究科

保健医療学 専攻

平成 28年度入学

氏名 加藤 明恵

学位論文題目

Relationships between trait and respiratory parameters during quiet breathing in normal subjects

学位論文審査の要旨

不安はだれもが感じるネガティブな感情であり、特に治療を受ける患者さんに強く出現する。不安は身体活動である呼吸と関連していることが知られている。しかし、不安と呼吸が普段どのように関連しあっているかは明らかにされていない。

本学位論文は、ヒト安静時の呼吸パターンが不安度とどのように関係しているかを明らかにしたものである。

16人の健康な男性を対象として、状態-特性不安尺度 (STAI) と様々な呼吸パラメータを検証した結果、特性不安の高い者は浅くて速い呼吸をしていた。一方、特性不安の低い者は深くてゆっくりな呼吸をしており、一回換気量や呼吸数は不安尺度と有意な相関関係が認められた。また高不安群と低不安群の両群間で有意差が認められた。しかし、分時換気量や酸素摂取量と特性不安度との間には相関は認められなかったことから、特性不安は代謝には関与していないことを明らかにした。ヒトの覚醒時における安静時の呼吸数は、個人の特性不安レベルと関係していることを示した。

本研究は、The Journal of Physiological Sciences68巻2018年に掲載されている。したがって本研究成果は、学位論文として申し分ないものであることだけでなく、社会に対しての貢献度も大きい。

審査においては、研究を始めた経緯や本研究成果をどのように生かしていくかという質問に対しても適宜受け答え、本研究を基軸として更なる研究が進むことで、柔道整復師が健康増進やメンタルヘルスケアに対して新しい道を切り開くような可能性も示唆された。

以上の観点から学位論文審査委員は、提出者の論文は柔道整復学博士としての学位論文に値すると判定した。